

令和5年度 遠野市立小友小学校 働き方改革アクションプラン

遠野市立小友小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

現状

- ◆ 時間外在校等時間が 60 時間を越える職員はいない。
- ◆ 複式学級を有しており、業務過多となっている職員もいる。
- ◆ 毎週水曜日はノー残業デーとしており、職員は早めに退庁している。

目指す姿

- ◆ 教職員が気持ちにゆとりをもち、じっくりと一人ひとりの児童と向き合い教育活動を行っている。
- ◆ 管理職が職員をよく観て、声を掛け、風通しのよい職場づくりを行っている。
- ◆ 職員が勤務時間内に業務を終了する意識化をもち、業務にあたっている。

働き方改革の重点取組

取組① 業務量の削減

- ◆ 校務支援ソフト等を各自が活用し、さらなる校務の連動を図る。(学校日誌、行事反省等)
- ◆ 会議資料を事前配布、提案の簡素化等を図り、極力短時間の会議とする。

取組② 業務量の調整の推進

- ◆ 管理職が日常の職員の様子を観て、臨機応変に授業、学級経営上の指導や支援を行う。
- ◆ 主任層等に対して、空き時間を確保するなど必要な業務時間の捻出を図る。

取組③ 業務改善の実施

- ◆ ノー残業デーは継続した取り組みとし、通常日も時間内業務への取り組み方の意識化を推進する。
- ◆ 見通しをもった業務推進を日頃より心がけ、全職員が勤務時間内に業務を終えるよう心がける。

具体的成果目標

関係する重点取組

目標① 時間外在校等時間の 60 時間以上を 0 人に保つ。

①、②、③

目標② 教職員全員が日常的に、定時退庁を心がける。

③

目標③ 職員会議の実施時間を 1.5 時間以内にする。

①

